



交通事故の発生状況と死亡事故の特徴

～平成30年中～

県内の交通事故死者55件56人（前年比+5件+5人）



1 交通事故発生状況（平成30年中）

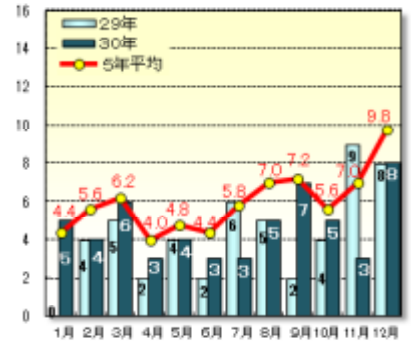
区分	発生件数	死亡事故		負傷者数		
		件数	死者数	重傷	軽傷	計
本年	6,815	55	56	618	7,891	8,509
前年	7,491	50	51	699	8,654	9,353
増減	-676	5	5	-81	-763	-844
率	-9.0	10.0	9.8	-11.6	-8.8	-9.0

区分	死者の状態別(人数)				高齢者の状況(人数)		高齢運転者
	四輪車	二輪車	自転車	歩行者	高齢者	高齢歩行者	
本年	27	7	7	15	27	9	16
前年	19	6	6	20	33	13	17
増減	8	1	1	-5	-6	-4	-1
率	42.1	16.7	16.7	-25.0	-18.2	-30.8	-5.9

2 全国及び東北の死者数（平成30年12月末現在概数）

区分	全国	東北	宮城県	青森県	岩手県	秋田県	山形県	福島県
本年	3,532	328	56	45	59	42	51	75
前年	3,694	290	51	42	61	30	38	68
増減	-162	38	5	3	-2	12	13	7
率	-4.4	13.1	9.8	7.1	-3.3	40.0	34.2	10.3

人【平成30年12月末現在概数】

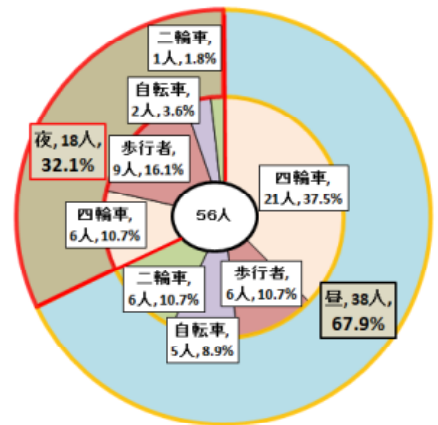


3 交通死亡事故等の主な特徴

(1) 昼間の発生が約7割を占める

交通死亡事故の昼夜別では、昼間の発生が37件38人（前年比+11件+12人）で、約7割を占めました。昼間発生事故の死者の状態別では、四輪車乗車中（21人、前年比+8人）と自転車（5人、前年比+3人）の増加が顕著で、事故類型別では、正面衝突（8人、前年比+5人）と追突（6人、前年比+6人）の増加が顕著でした。

【平成30年昼夜別・状態別死者数】



【平成30年状態別年齢別死者数】

(2) 高齢者の死者が約半数を占める

高齢者が死亡する交通事故は26件27人（前年比-6件-6人）で、交通事故死者に占める高齢者の割合は約半数（死者56人中27人、48.2%）でした。《全国の12月末現在の高齢者死者数は全死者3,532人中1,966人、55.7%》死者の状態別では、歩行者が9人（夜間4人、昼間5人）で、四輪車乗車中が14人、そして自転車乗用中が4人でした。

【平成30年状態別年齢別死者数】

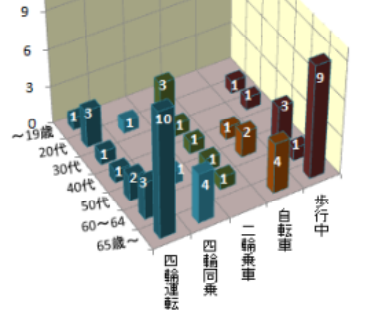
(3) 高齢運転者による事故が約3割を占める

高齢運転者が第1当事者となった交通死亡事故は16件16人（前年比-1件-1人）で、全死亡事故の約3割（死亡事故55件中16件、29.1%）を占めました。事故類型別では、人対車両4件、車両相互8件（正面衝突2件、追突2件、右折直進1件、出会い頭2件、左折1件）、そして単独事故等4件でした。《県内の運転免許保有者数は、総数1,546,701人、うち65歳以上の高齢者は340,355人、構成率22.0%（平成30年末現在）》

(4) 自転車及び二輪車の事故が増加

自転車の乗用者が死亡した事故は7件7人（前年比+1件+1人）で、うち4人が高齢者（前年比+1人）でした。また、二輪車の死亡事故も7件7人（前年比+1件+1人）で、前年より若干増加しました。

【平成30年状態別年齢別死者数】



(5) 飲酒運転による事故が増加

飲酒運転（原付以上）による死亡事故は5件5人で、前年比+4件+4人と増加しました。また、県内の飲酒運転による人身事故は77件（死者5人、負傷者98人）で、前年比+6件（死者+4人、負傷者+1人）、うち、仙台市内の発生が39件で前年比+6件と増加しました。

【平成30年状態別年齢別死者数】

(6) 歩行者の事故は減少

歩行者の交通事故死者は15件15人で、状態別では全死者の約3割（死者56人中15人、26.8%）を占めましたが、前年比では-4件-5人と減少しました。特に夜間の歩行者死者数は9人で前年比-5人と減少したほか、高齢歩行者は9人で前年比-4人と減少しました。また、歩行者事故の道路形状別では、交差点内が7件、直線道路が7件、その他1件で、交差点内の事故は7件全てが横断歩道上での発生でした。

